

# XML

## のひととき

### .NET時代のデータ形式ことはじめ

薬師寺 国安 YAKUSHIJI, Kuniyasu  
 薬師寺 聖 YAKUSHIJI, Sei  
 PROJECT KySS  
<http://www.PROJECTKySS.NET/>



#### はじめに

こんにちは。寒冷前線が発達して厳しい寒さになっています。本日の「XMLのひととき」は、四国情報通信フェスタの会場から中継でお送りします。

司会進行は、私“寺こくあん”。BGMはノリのいいラップ“春夏秋冬”です。いま会場を回ってきたのですが、XMLを使ったシステムを数社が出展しています。データ交換フォーマットとして採用しているようです。すでに地方都市にもXMLは浸透してきているんですね。

のペンネーム「.NETファン」さん。

.NETとXMLの関係がわかりません。XMLと親しくしていなければ、.NETとの関係は気まずくなるでしょうか？ この世界でやっていけなくなるのでしょうか？

おやユニークな表現ですね。もう一通ご紹介。兵庫県の「VS.NETほしい」さんから。

.NETをするならXMLという図式はあるのか？ その根拠は何か？



#### Scene 1

#### 共通語でわかり合おう

●●● XMLにゴマをすれ ●●●

それでは、最初の視聴者からのお便り!! えー、大阪府

#### 本稿で前提となるもの

OS Windows 2000 Professional (SP3) 以降  
 開発環境 Visual Studio.NET

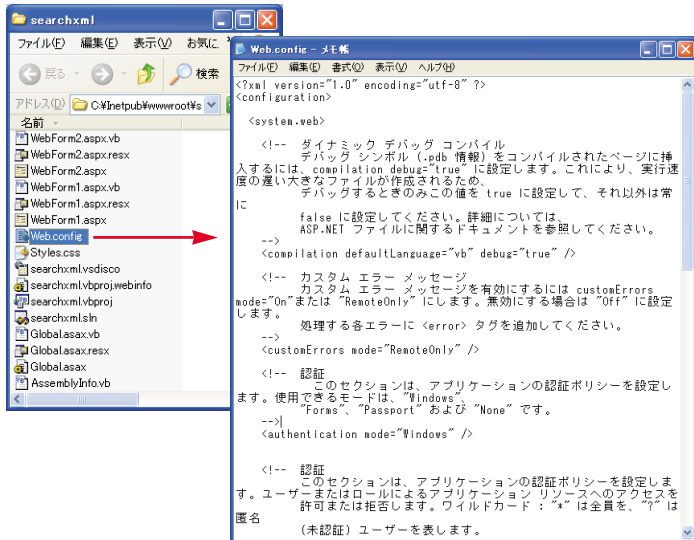


うーん、難しい質問です。私自身は、両者の関係といった概念的なことを理解するよりも、「コードの1行を書くほうが先決、プログラムが動きゃいい」というタイプなので……。でもお答えしないとイケないですねえ。少なくとも私の知る限りでは、.NETで提案しようが、それ以外であろうが、クライアントさんの口からは“XML”という言葉は出てきます。なので、.NETでの開発を決定すると、自動的に「.NETで開発 = XML採用」という図式が成立しがちです。

たしかに、.NETでは、W3CのXML仕様がサポートされていますし（表1）、Visual Studio.NET（以下VS

# XMLのひととき

図1：VS.NETでWebアプリケーションを作成したときに生成されるファイル。たとえばWeb.configはXML形式



.NET) で作成されたファイルはXML形式になります(図1)。これだけを見ても、.NETにXMLがデフォルトの技術として組み込まれていることをひしひしと感じます。しかし、これらのファイルはVS.NETでプログラムを作れば、自動的に作成されるものです。たとえば、VS.NETでASP.NETアプリケーションを作成すると、Web.configというASP.NETアプリケーションの構成設定ファイルができますが、システム管理者が設定を変更してシステムを拡張することがあったとしても、プログラマがこの作業を行なう局面は極めて少ないのではないかと思います。

また、XMLファイルを一から作成する作業ではないので、ネットワークに関する知識は必要であっても、XMLの仕様に関する知識はほとんど必要ないでしょう。

プログラミング作業そのものをとっても、XMLに関

表1：.NETがサポートするW3CのXML仕様

仕様	URL
XML1.0	<a href="http://www.w3.org/TR/1998/REC-xml-19980210/">http://www.w3.org/TR/1998/REC-xml-19980210/</a>
Namespace in XML	<a href="http://www.w3.org/TR/REC-xml-names/">http://www.w3.org/TR/REC-xml-names/</a>
XSD (Schema)	<a href="http://www.w3.org/2001/XMLSchema/">http://www.w3.org/2001/XMLSchema/</a>
XPath1.0	<a href="http://www.w3.org/TR/xpath/">http://www.w3.org/TR/xpath/</a>
XSLT1.0	<a href="http://www.w3.org/TR/xsl/">http://www.w3.org/TR/xsl/</a>
DOM Level1 Core	<a href="http://www.w3.org/TR/REC-DOM-Level-1/">http://www.w3.org/TR/REC-DOM-Level-1/</a>
DOM Level2 Core	<a href="http://www.w3.org/TR/DOM-Level-2/">http://www.w3.org/TR/DOM-Level-2/</a>

する知識がなければ.NETでのプログラミングができないわけじゃありません。XML Webサービスもしたり、XMLを理解していなければ歯が立たないわけではありません。だから、プログラマという職業に限って言えば、XMLに口を利いてもらわなければ.NETに近づけない、というような「直接的な関係」はないですね。XMLって、そこまでの力もっていないのです。

私のまわりにはXMLの案件が多いし、XMLを扱うほうが便利だし、個人的にはカンタンだと思っているからXMLを使っていますが、RDBの仕事数年先まで受注しているプログラマなら現時点で業務に支障はないでしょう。むしろ、「直接的な関係がないなら、XMLは必要ないよ」って思うかもしれません。

XMLを採用することでプログラムコードはどのように異なるものになるのか、処理がどれだけ速くなるのか、作業がどれだけ省力化できるのか、具体的な数字を提示しなければ納得できないかもしれませんね。でも、それには、同一テーマのプロジェクトを、XMLとXML以外で開発する実験を行ない、その結果を示さなければならぬのではないのでしょうか。

しかし、それを私に求めるのはムリというものです。だって、XMLか、XML以外か、どちらかで開発してしまえば、それで作業は終わりですから、比較する機会なんてありませんよ。

でも、「XML技術の上で.NETに取り組む必要がある」という「直接的な関係」はなくても、「.NETでXML文書を扱うことができる」という「間接的な関係」は大いにあります。だから、NETとうまくやってゆきたいなら、.NETが気に入っているXMLにはゴマをすっておいたほうがいいんじゃないかなあ。XMLを巻き込んで事業を進めておいたほうが後々何かと都合がいいように思いますね。

## ●●●.NETラップ説●●●

.NETとXMLの関係は、たとえて言えば、今バックで流れている「ラップ」みたいなものでしょう。

私はトシなんて最近の歌はどうにもわからんのですが、ラップなら、どんな言葉でもリズムに乗せて歌にできま